

各都道府県介護保険担当課（室）

各保険者介護保険担当課（室） 御 中

各 介 護 保 険 関 係 団 体

← 厚生労働省 老健局高齢者支援課

介 護 保 険 最 新 情 報

今回の内容

「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や
医療機関等との間におけるデータ連携のための標準
仕様について」等のホームページへの掲載について
計5枚（本紙を除く）

Vol.1095

令和4年8月30日

厚生労働省老健局高齢者支援課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよ
う、よろしくお願いいたします。 】

連絡先 TEL：03-5253-1111（内 線 3876）
FAX：03-3595-3670

事 務 連 絡
令和 4 年 8 月 30 日

都道府県
各 介護保険主管課（室） 御中
市区町村

厚生労働省老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や医療機関等との間における
データ連携のための標準仕様について」等のホームページへの掲載について

介護保険行政の円滑な実施につきましては、日頃から御尽力賜り厚く御礼申し上げます。

介護現場の負担軽減は喫緊の課題であり、介護分野における業務効率化を図るために、ICT
を活用した情報連携の取組を推進することが重要です。

先般、「「居宅介護支援事業所と、介護サービス提供事業所や医療機関等との間におけるデ
ータ連携のための標準仕様について」（令和 4 年 8 月 12 日 老高発 0812 第 1 号 老認発 0812
第 1 号 老老発 0812 第 1 号）」において、データ連携に必要となる標準仕様について、お示
ししたところです。

今般、厚生労働省ホームページにおいても、上記の標準仕様等をそれぞれ掲載いたしました。

つきましては、管内関係団体、介護サービス事業所等に周知いただくとともに、貴自治体
による介護事業所支援にご活用ください。

掲載場所 <https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-ict.html>

【担当】

厚生労働省老健局高齢者支援課

介護業務効率化・生産性向上推進室 秋山、石内、小河

TEL：03-5253-1111(内線 3876)

調査研究の結果を踏まえ、以下のデータ連携のための標準仕様を作成

入院時・退院時情報

[illegible]

訪問看護計画書

利用者氏名		生年月日	年 月 日 ()歳					
要介護認定の状況	要介護(1 2) 要介護(1 2 3 4 5)							
住 所								
看護・リハビリテーションの目標								
年 月 日	問 題 点 ・ 解 決 策					評価		

[illegible][illegible]

項目 種別	分 類	項目 番号	項目 名	○：必須 □：任意	備考	コード化	桁数	コード値	注
標準 項目	共通 ヘッダ	1	ファイル名No.	○	連続（通番号一文字の連続を除外）		14		
		2	種別識別	○			1		
		3	事業所番号	○	事業所番号		10		
		4	課番号	○	課番号		2		
		5	課内課番号	○	課内課番号		10		
		6	ファイル名	○	ファイル名		8		
		7	記入日	○	YYYYMMDD		8		
		8	事業所名	○	自由記述		60		
		9	課名	○	自由記述		20		
		10	課内課名	○	XXX-XXXX-XXXX		18		
		11	FAX番号	○	XXX-XXXX-XXXX		15		
		12	作成年度	○	自由記述		20		
		13	作成月	○	自由記述		20		
		14	利用番号/入力/入力	○	99999999		60		
		15	利用番号	○	自由記述		50		
		16	利用種別	○	自由記述		2		
		17	利用番号性別	○	男/女		1		1 男 2 女
		18	利用年度	○	YYYYMMDD		8		
		19	利用年度	○	XXX-XXXX		1		
		20	利用年度	○	自由記述		170		
		21	利用年度	○	XXXX-XXXX-XXXX		15		

その後の経過 介護保険申請 と関係する 事項	S33	作業療法士の入院（2日目）	なし、あり	○	1	0	なし
					1	1	あり
	S34	保体0	できる、何かに比べれば、できない	○	1	1	できる
					1	2	何かに比べてできる
	S35	移果	介助なし、一部介助、全介助	○	1	3	移果なし
					1	1	介助なし
					1	2	一部介助
					1	3	全介助
	S36	口腔管理	介助なし、介助あり	○	1	1	介助なし
					1	2	介助あり
	S37	食事摂取	介助なし、一部介助、全介助	○	1	2	介助なし
					1	2	一部介助
					1	3	全介助
	S38	衣服の着脱	介助なし、一部介助、全介助	○	1	2	介助なし
					1	2	一部介助
					1	3	全介助
	S39	診療・療養上の指示が満足	はい、いいえ	○	1	2	はい
				1	2	いいえ	
S40	治療時間	短い、ある	○	1	0	短い	
				1	1	ある	
S41	(訪問看護計画で把握した)計画達成への評価数、達成度の低	自由記述（訪問看護計画中で把握した問題点や解決	1000				
S42	(訪問看護計画で把握した)計画達成への達成度の理由	自由記述（訪問看護計画中で把握した問題点や解決	1000				
S43	(訪問看護計画で把握した)計画達成への達成度の理由	自由記述（訪問看護計画中で把握した問題点や解決	1000				

1

ケアプラン標準仕様について

- 毎月、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所の間でやり取りされるケアプラン（予定・実績情報）について、異なるベンダーの介護ソフトであってもデータ連携を可能とするため、厚労省が示す様式をもとに、フォーマットやデータ形式等を規定した「標準仕様」を作成。
- 今後、「ケアプランデータ連携システム」等で活用

<イメージ図> (ケアプラン)

フォーマットの統一

No.	日本語名称	書式、選択肢など
1	保険者番号	要介護者が属する自治体のコード
2	被保険者番号	被保険者番号
3	居宅サービス計画作成年月日	YYYYMMDD
4	利用者氏名	フリーテキスト
5	利用者生年月日	YYYYMMDD
6	利用者郵便番号	XXX-XXXX
7	利用者住所1	フリーテキスト
8	利用者住所2	フリーテキスト
9	居宅サービス計画作成者氏名	フリーテキスト
25	総合的な援助の方針	フリーテキスト
26	生活援助中心型の算定理由	1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他
27	その他理由	フリーテキスト

共通化

ソフトごとにデータのフォーマットが異なり円滑な情報連携が行えないという課題

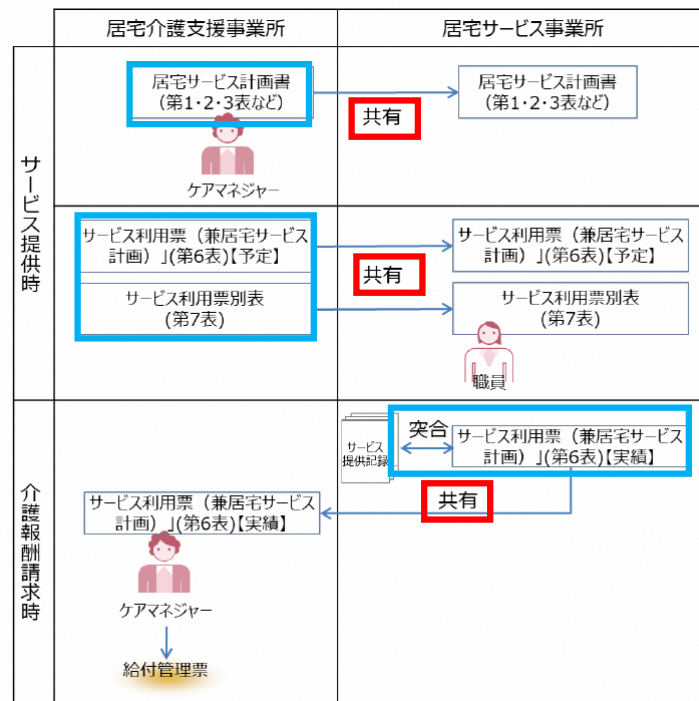
【期待できる効果】

- 書類の記入や転記誤りなど業務負担の削減
- 人件費、印刷費、通信費、交通費などの削減

【連携されるデータ】

- 利用者基本情報
- 居宅サービス計画（予定）・・・長期目標、短期目標、サービス事業所名、頻度、実施機関等
- サービス利用表（実績）・・・単位数、サービス利用日等

ケアプラン標準仕様の活用例



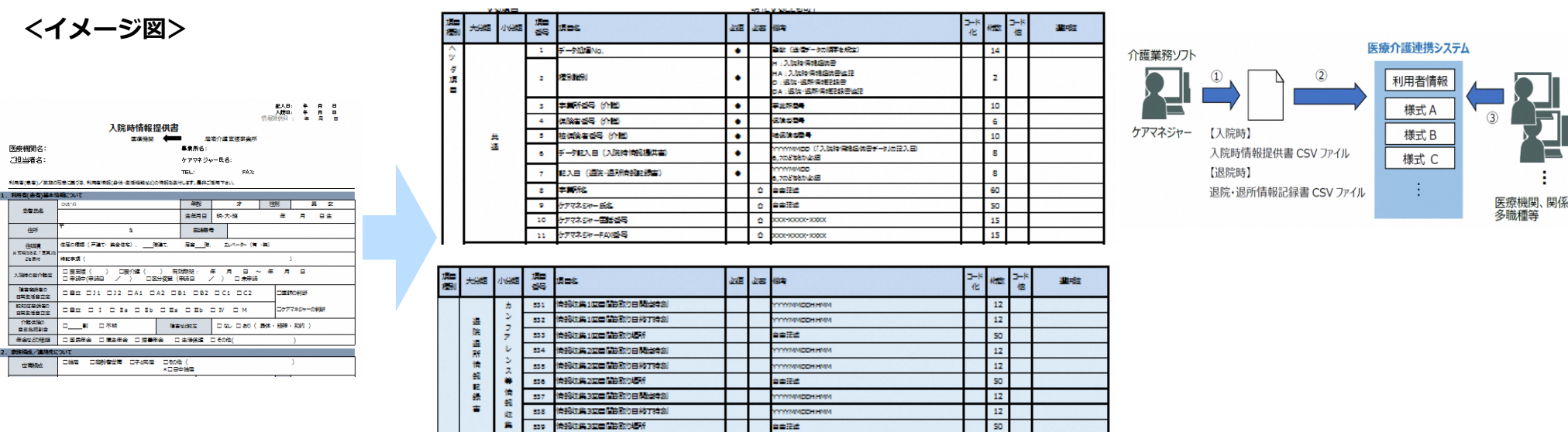
標準仕様の活用によりデータでやり取り

介護ソフトより、標準仕様に準じた形式で出力

入退院時情報連携標準仕様について

- 入院時・退院時にケアマネジャーと医療機関が連携することが求められており、介護報酬において入院時情報連携加算、退院・退所加算として設定され、厚生労働省が様式例を示している。
- 入院時情報提供書、退院・退所情報記録書による居宅介護支援事業所と医療機関等の情報連携について、電子的に行うことができる標準的なファイル形式の詳細について記載

<イメージ図>



今後、多職種が情報共有する医療介護連携システムでの活用を期待

【連携されるデータ】

- 基本情報・・・保険者番号、利用者被保険者番号等
- 入院時情報提供書・・・入院日、要介護度、世帯情報、本人・家族の意向、入院時の介護、身体・生活機能、療養上の課題、服薬等
- 退院時情報提供書・・・退院時の要介護度、退院日、入院概要、入院中の状況、本人家族の意向、退院後に必要な事項等

訪問看護計画等標準仕様について

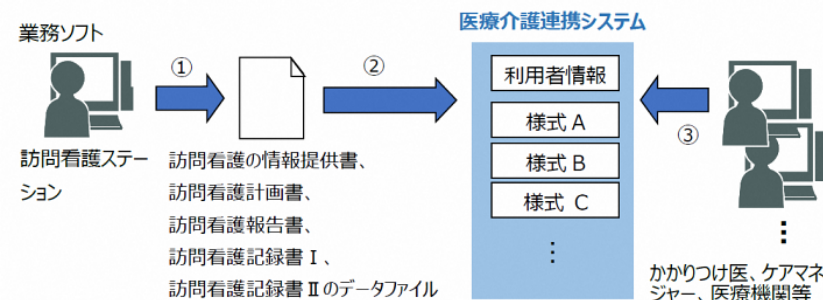
- 訪問看護計画等について、日々のサービス提供内容について厚生労働省が様式例を示している。
- これらの様式による訪問看護ステーション、かかりつけ医、ケアマネジャーの情報連携について、電子的に行うことができる標準的なデータ項目の詳細について記載

<イメージ図>

別添様式1 訪問看護計画書

利用者氏名	生年月日	年	月	日	()歳
要介護認定の状況	要支援(1 2)	要介護(1 2 3 4 5)			
住 所					
看護・リハビリテーションの目標					
年 月 日	問 題 点・ 解 決 策	評価			

項目 種類	分類	項目 番号	項目 名称	○：必須 □：任意	備考	コード化	桁数	コード値	説明等
基本 項目	共通 ヘッダ	1	氏名	○	姓(漢字・カタカナ・英字)		14		
		2	生年月日	○	YYYYMMDD		8		
		3	性別	○	男/女		1		
		4	要介護認定状況	○	要支援(1 2) 要介護(1 2 3 4 5)		5		
		5	住所	○	〒XXXX-XX-XXXX		15		
		6	電話番号	○	00-XXXX-XXXX		10		
		7	メールアドレス	○	YYYYMMDD		8		
		8	介護保険番号	○	XXXXXXXXXX		10		
		9	介護保険種別	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		10	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		11	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		12	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		13	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		14	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		15	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		16	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		17	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		18	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		19	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		20	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
		21	介護保険料	○	1 2 3 4 5 6 7 8 9		1		
その他 項目	看護 項目	533	訪問看護計画の作成(2回目)	○	なし、あり		1		
		534	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		
		535	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		
		536	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		
		537	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		
		538	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		
		539	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		
		540	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		
		541	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		
		542	看護の目標	○	できる、何かにつまずいている、できない		1		



今後、多職種が情報共有する医療介護連携システムでの活用を期待

【連携されるデータ】

- 基本情報・・・保険者番号、利用者被保険者番号、要介護度等
- 訪問看護計画書・・・看護の目標、解決策、評価等
- 訪問看護報告書・・・保険種類、職種、訪問看護指示書、訪問日等
- 訪問看護記録書 I・・・看護師氏名、訪問職種、訪問年月日、開始時間、終了時間、傷病名、現病歴、既往歴、生活歴、ADL等
- 訪問看護記録書 II・・・看護師氏名、訪問職種、訪問年月日、開始時間、終了時間、心身機能、実施した看護等
- 訪問看護の情報提供書・・・主治医氏名、医療機関名、ADL、看護の内容、看護上の問題点等